



第54回九州・沖縄地区溶接技術競技会

炭酸ガスアーク溶接の部 優勝 🏆

(株)戸上メタリックス 小野辰登 選手

20年ぶりの快挙

令和6年11月30日、沖縄県那覇市 沖縄青年会館において第54回九州・沖縄地区溶接技術競技会 表彰式が行われました。佐賀県からは(株)戸上メタリックス 小野辰登選手が炭酸ガスアーク溶接の部でみごと優勝を果たしました。佐賀県での優勝は第35回大会、小森鉄工(株) 坂井 修氏の受賞以来20年ぶりの快挙となります。優勝した小野選手は、経済産業省九州経済産業局長賞、内閣府沖縄総合事務局賞、九州地区溶接技術検定委員会委員長賞を受賞しました。

小野選手は「今回は奇跡的に優勝できたが、来年、再来年もここ(表彰式)に来られるようがんばりたい。団体でも佐賀県は優勝を狙っています！」と抱負を語っていました。



佐賀県 団体2位!

競技会は7月7日、熊本県産業技術センターで行われました。九州各県の競技会を勝ち抜いたアーク溶接の部 25名、炭酸ガス溶接の部 30名、計55名の参加者が文字通り火花を散らす中、佐賀県代表として5名の選手が参加しました。

酷暑の中、各選手が日頃の鍛錬の成果を十分に発揮し、佐賀県選手は団体で2位の成績をあげました。1位の長崎県とはわずかの点差であり、来年の九州大会にも期待がもてる結果となりました。

選手の皆さん、お疲れさまでした。



九州大会 出場者

左から (株)名村造船所 堀田晃一 選手、森鉄工(株) 井上直哉 選手
(株)戸上メタリックス 小野辰登 選手・原口晃太 選手・武富信幸 選手

編集部より

今年の九州大会は、社長自ら運転手をつとめて参加された企業や、当日朝、応援に駆けつけた先輩など、まわりの方の支援が印象的な大会でした。

選手のたゆまぬ努力もさることながら、大会参加のために、日々の業務の多忙な中、協力し練習時間を作って下さる職場の皆様、頭の下がる思いです。

すでに佐賀県大会は終わり、あとは結果を待つのみとなっていますが、代表として選ばれた選手のために、今後とも温かいご支援をよろしくお願いいたします。

来年度の九州大会は、7月5日～6日 沖縄県📍で開催されます。

一般社団法人 佐賀県溶接協会